

計画小委員会活動報告

計画小委員会
小委員長 岸井 隆幸

1. 小委員会の目的

計画小委員会は都市空間の再編に結びつく地下空間の計画システム，事業システム，評価システム等の確立を目的として研究活動を行っている。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 地下空間利用に関わる公民協働の仕組みの整備
- (2) 地下空間利用に関わる有用性の評価

2.2 基本方針

- (1) 地下空間利用に関わる公民協働の仕組みの整備

地下空間における公共施設が理想的な形で整備がなされていない。これは、公民の土地所有の問題に起因することも大きい。大深度法の成立・施行により幹線系の地下利用においては理想的な整備の途が開けた。しかし、大深度利用において地上との連絡空間であり、地下空間利用における必要不可欠な浅深度において、理想的な整備に向けた、公民が協働するための何らかの仕組みやルール整備が必要と考えられる。

- (2) 地下空間利用に関わる有用性の評価

過去2期に亘る計画小委員会の検討テーマとして取り上げられてきた。前期において評価手法の整理とその適用の可能性の見通しまで行っている。各方面において評価手法の検討が試みられているが、簡単にはまとめきれない問題であり、未だ確固たる提案がなされていない。今後、地下空間利用を行う上で「有用性の評価」は大きな要点と考えられる。

2.3 研究体制

上記の2つの基本テーマについて、ワーキンググループを編成して研究活動中。

2.4 スケジュール

活動内容／年度	2002年度	2003年度	2004年度
1) 情報・資料の収集整理	←→		
2) 事例の調査・研究	←→	→	

3) 課題の抽出, 具体的分析研究		←	→
4) 成果とりまとめ			↔

3. 活動経過

3.1 小委員会

- ◇ 平成 16 年 1 月 8 日 第 8 回小委員会
 - ①第9回地下空間シンポジウム対応, ②平成16年度予算, ③WG研究進捗度と課題の確認
- ◇ 3 月 3 日 第 9 回小委員会
 - ①第10回地下空間シンポジウムへの論文応募について, ②WG研究進捗度と課題の確認, ③ヒアリング対象・資料収集先の検討, ④「ボストンBIG DIG」の調査方法の検討
- ◇ 4 月 28 日 第 1 0 回小委員会
 - ①WGにおける研究活動の進捗確認, ②「ボストンBIG DIG」の検討
- ◇ 5 月 28 日 第 1 1 回小委員会
 - ①「ボストンBIG DIG」の検討, ②各WGの検討課題の確認
- ◇ 8 月 20 日 第 1 2 回小委員会
 - ①公民協働WGの検討内容確認, ②「ボストンBIG DIG」WGの検討内容確認 ③有用性評価手法WGの検討内容確認
- ◇ 9 月 28 日 第 1 3 回小委員会
 - ①第10回地下空間シンポジウムへの投稿論文の検討
- ◇ 11 月 10 日 第 1 4 回小委員会
 - ①小委員会の研究目標の達成状況と課題の確認

3.2 ワーキンググループ

毎月 1 回ワーキンググループ会議を開催

- (1) Aグループ: 公民協働について既存事例整理と今後の望ましい姿の研究.
- (2) Bグループ: 「ボストンBIG DIGプロジェクト」を事例に地下利用の有用性を継続研究中.

4. 委員名簿

役職	委員氏名	勤務先	役職	委員氏名	勤務先
委員長	岸井 隆幸	日本大学	委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所
副委員長	松下 潤	芝浦工業大学	委員	田中 正	
委員	浅野 光行	早稲田大学	委員	西 淳二	NPO ジェオテクチャー・フォーラム
委員	有澤 誠	(株)近代設計	委員	村田 哲哉	(株)ドーコン
委員	岩波 基	(株)熊谷組	委員	村山 秀幸	(株)フジタ
委員	大友 哲朗	東京都	委員	吉田 裕樹	(株)復建エンジニアリング
委員	粕谷 太郎	鉄建建設(株)	委員	渡辺 徹	西松建設(株)
委員	京谷 孝文	東北大学	委員	渡部與四郎	
委員	古賀 大陸	日本技術開発(株)			
委員	鈴木 直司	(株)ニュー・エック	幹事	工藤 康博	(株)三菱地所設計